

# KYODO PRINTING GROUP

## 第 129 期 事業報告書

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日



# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第129期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の決算が終了いたしましたので、事業概況をご報告申し上げます。

## 当期の状況

当期におけるわが国経済は、世界的不況が広がる中で企業業績や雇用情勢が悪化し、設備投資や個人消費が冷え込むなど、特に後半から極めて厳しい状況で推移しました。印刷業界におきましても、景気悪化に伴う需要の縮小で受注競争が激化する一方、用紙やフィルムなどの原材料価格が高止まりするなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、共同印刷グループは、新たなグループ経営ビジョン「KYODO SPIRIT 2010 やってみる・変えてみる」に基づく3年間の中期経営計画をスタートさせ、業績の向上に取り組みました。

「売上拡大によって生産量を確保し、生産効率の向上によって利益拡大を図る」という経営方針の下、営業人員の増強、老朽設備の更新や省力化機器の導入、一貫生産体制の構築など、受注の拡大と生産効率の向上に努めました。また事業領域を拡大するため、ITを利用した新しいサービスや機能性材料関連の新製品の拡販に取り組みました。

しかしながら、出版不況や企業の広告費削減などの影響により、出版印刷と商業印刷での価格下落が進み、生産効率向上によるコストダウンが利益の悪化を補うまでには至りませんでした。

その結果、当期における業績は、連結売上高は1,110億9千万円（前期比2.0%減）、連結営業利益は8億3千4百万円（前期比53.7%減）、連結経常利益は13億9千7百万円（前期比41.4%減）となりました。

また、特別損失として、減損損失や投資有価証券評価損などを計上したことにより、連結当期純損失は14億1百万円（前期は当期純利益1億7百万円）となりました。

なお、当期の期末配当金は前期同様1株につき4円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき8円とさせていただきます。

## 今後の取り組み

今後のわが国の経済状況は、景気対策の効果による回復が期待されるものの、当面は不透明な状況で推移すると思われれます。印刷業界におきましても、紙媒体が電子媒体に置き換わることによる需要減と、景気低迷により、市場環境はいっそう厳しくなるものと予想されます。

当グループではこれら厳しい状況に対処するために、昨年策定した中期経営計画における各種施策の見直しや追加を行い、目標達成に向けた活動をさらに強化してまいります。

当グループが強みを持つ品目においてはお客さまへの提案活動を積極的に行い、引き続き売上拡大を推進するとともに、不採算品目については整理、縮小を進めて利益確保を図ります。製造部門では生産設計機能を強化し、設計段階からの生産効率の向上に取り組めます。設備投資につきましても製品分野ごとの成長性や収益性を見極め、必要性について厳しく吟味し、投資総額の圧縮を図ります。

新規事業につきましては、今まで培ってきた当グループ

の総合力を駆使し、既存印刷事業に隣接する各種サービス事業を開拓いたします。出版印刷、商業印刷から、デジタルコンテンツサービス、販促支援サービス、業務支援サービスを発展させ、事業領域を拡大してまいります。また生活資材分野では、「モイストキャッチ」などの機能性材料の応用開発に注力し、お客さまのニーズに対応した高付加価値製品を提供いたします。

コストダウン施策につきましては、子会社の統合、人件費削減、外注費削減、諸経費の見直しなどを実施し、企業体質の改善を進め収益性の向上を図ります。

以上の取り組みによりグループ一丸となって業績の向上をめざし、中期経営計画の達成と経営ビジョンの実現に努めてまいります。

また、環境への配慮をはじめ、コンプライアンスの強化、人材の活用などCSR活動の推進も重要な経営課題であります。特に環境面では、CO<sub>2</sub>排出量削減やグリーン製品の開発などの具体的目標を定めた「環境ビジョン 2010」に従い環境負荷低減活動を進めており、昨年6月には東京都から本社事業所の温室効果ガス削減への取り組みが評価され、知事表彰をいただきました。今後も社会的責任を果たし社会から評価をいただくことで、持続的成長を実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なにとぞ一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 21 年 6 月



代表取締役社長

綿本 歳明

# 営業の概況

## 出版印刷部門

定期刊行物、書籍、電子出版など

23.1%

構成比

(連結売上高 256 億 4 千 8 百万円 / 前期比 1.7% 減)

出版印刷部門では、厳しい市場に対応するため営業力強化に努めるとともに、「ComicPacker®」を活用したまんがコンテンツのマルチユース展開サービスの拡販を推進いたしました。その結果、コミックスは増加しましたが、単行本などが減少し、書籍全体では減少となりました。定期刊行物も、部数減などのため減少しました。

以上の結果、部門全体では前期を下回りました。

当グループでは、まんがに関わる製品の受注拡大をめざし、引き続きさまざまな取り組みを行ってまいります。関連会社のデジタルカタパルト(株)を核としたまんがコンテンツのデジタル配信を中心とする事業の拡大に努め、出版業界に対し、コンテンツの作成から配信までのトータルソリューションサービスを提供いたします。



コミック誌・コミックス

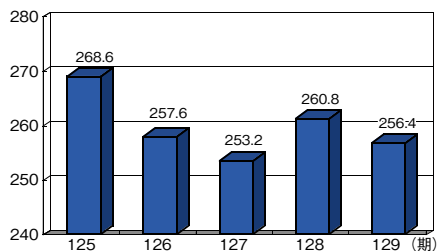


書籍



定期刊行物

売上高 (億円)



## 商業印刷部門

一般商業印刷、各種BF、データプリント、通帳・証券類、各種カードなど

構成比  
59.0%

(連結売上高 655 億 3 千 9 百万円 / 前期比 3.9% 減)

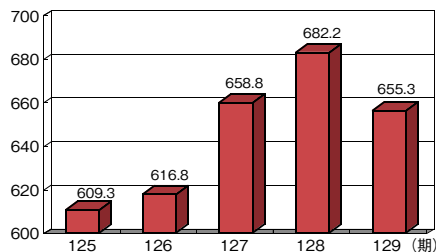
一般商業印刷では、品目ごとに当グループの強みを生かした受注活動を推進いたしました。カタログは、スタジオを活用した企画・制作から発送までのトータル受注に努め、増加しました。また、チラシやPOP・ノベルティも好調でした。しかし、情報誌が減少したため、一般商業印刷全体で前期を下回りました。

ビジネスフォームでは、制度変更に伴う需要増を受けデータプリントが増加しましたが、帳票類は減少しました。証券類では、抽せん券が増加したものの、乗車券は減少しました。ICカードは、金融分野向けおよび通信分野向けが増加しましたが、交通関連が昨年の特需の反動で大きく減少し、全体として減少しました。

以上の結果、部門全体では前期を下回りました。

今後、カタログや情報誌関連のトータル受注に引き続き注力するとともに、販促用ダイレクトメールやPOPの受注拡大をめざして積極的に取り組んでまいります。またデータプリント業務を核として、データエントリーやコールセンター業務といった周辺サービスを一括して請け負うBPO事業の拡大をめざしてまいります。

売上高 (億円)



高級美術複製画



情報誌



カタログ



各種カード



データプリントなど



## 生活資材部門

軟包装、紙器、金属印刷、各種チューブ、建材など

16.7%  
構成比

(連結売上高 185 億円 1 千 8 百万円 / 前期比 5.7% 増)

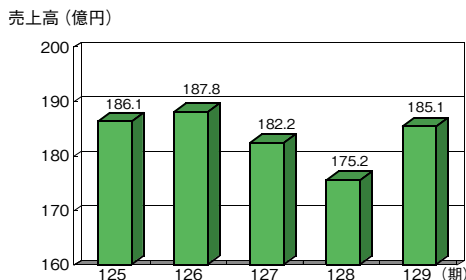
生活資材部門では、当グループが技術的に強みを持つ高付加価値製品の受注拡大に努めました。金属印刷は需要減により減少しましたが、チューブは食品用を中心に伸ばしました。紙器ではラップカートンや食品カートンが増加しました。軟包装も、カップ麺のふた材「パーシャルオープン」を中心に前期を上回りました。建材製品についても、住設部材の受注増により増加しました。

以上の結果、部門全体では前期を上回りました。

現在、ラミチューブやラップカートン、パーシャルオープンなどの高付加価値製品の拡販に注力し、シェア拡大を図っています。さらに当社開発製品である「モイストキャッチ®」「ヒューミジャッジ®」に関しては、国際的な展示会へ出展するなど、国内外のさまざまなお客さまに対して積極的な拡販に努めています。



紙器・軟包装



チューブ



金属印刷

## その他部門

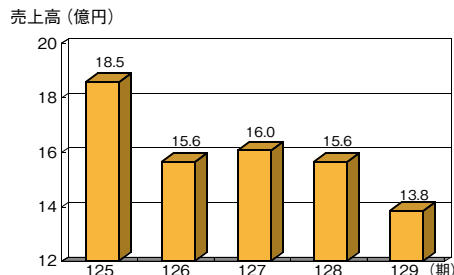
物流業務、不動産管理など

1.2%  
構成比

(連結売上高 13 億 8 千 4 百万円 / 前期比 11.3% 減)

連結子会社における物流業務、保険取扱業務、不動産管理等が当部門の主な内容です。保険取扱業務が増加したものの不動産管理は減少し、物流業務も減少しました。

以上の結果、部門全体では前期を下回りました。



## 読者の“読みたい”と出版社の“読んでもらいたい”をつなぐ技術

共同印刷グループでは、まんがを中心としたコンテンツの電子配信ニーズに応えるため、印刷メディアだけではなくインターネット、携帯電話などで閲覧できるデジタル技術の開発を進めています。

そのひとつが、当社が独自開発したまんがのフルデジタル制作システム「ComicPacker<sup>®</sup>」です。

ComicPackerは、これまで培ってきた印刷用組版技術をベースに、独自の編集システムを搭載し、高品質・短納期の制作を可能にしました。マルチメディア展開に即したデータ構造で制作するため、雑誌から単行本、海外版の作成をはじめ、携帯電話やパソコン、携帯ゲーム機など印刷以外のメディアへの展開が効率的に行えます。

また、当グループのデジタルカタパルト(株)では、パソコン用電子書籍ビューアー「DOR(ドア)」を開発しました。DORの特徴は、便利で使いやすいインターフェイスと、高画質なまんが作品を閲覧できることです。

現在DORは、「Yahoo! コミック」や(株)小学館の「ソク読み」、(株)スクウェア・エニックスの「ガンガンONLINE」などに採用され、大勢の読者にデジタルブックをお楽しみいただいています。

以上の技術を活用し、平成20年度はまんがコンテンツを中心としたデジタルデータ制作からコンテンツ販売システムまでのネットワークソリューションを提供し、雑誌発売と同時にインターネットによるパソコンでの閲覧を実現しました。

今後もまんががコンテンツだけではなく、当グループのコア技術である印刷技術と情報通信技術を融合させ、コンテンツのクロスメディア展開に積極的に取り組んでいきます。



平成20年11月、「第一回アジア太平洋デジタル雑誌国際会議」に出展。当社のデジタル技術をアピールしました。

### パソコン用電子書籍ビューアー 「Digital Object Reader」(DOR)

パソコンで、高画質なまんが作品が閲覧できます。読者のニーズに応えるため、画面の「拡大・縮小」や「自動ページ送り」、読みたいページにすぐ飛べる全ページの「一覧」など、多彩な機能が実装されています。音声や動画にも対応しているほか、広告表示も可能です。



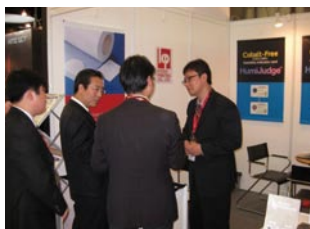
※「Digital Object Reader」(DOR)はデジタルカタパルト(株)の登録商標です。

## 産業資材分野

### 国内外トレードショーへ意欲的に出展

当社が独自開発し市場展開を図っている、コバルト化合物を使わない、環境に配慮した湿度インジケータ「ヒューミジャツジ®」と、吸湿・吸着機能包材「モイストキャッチ®」の拡販をめざし、国内外のトレードショーに積極的に出展しました。

出展先は、平成20年12月に行われた世界最大の半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON Japan 2008」(幕張メッセ)、平成21年1月の「インターネブコン・ジャパン」(東京ビッグサイト)、3月に中国／上海で行われた「SEMICON China 2009」です。今後も、販売促進活動を推進し、国内はもとより、東アジア・東南アジアの半導体・電子部品市場を開拓していきます。



平成21年3月「SEMICON China 2009」

## 化粧品向けに

### 当社オリジナル オーバルラミネートチューブ

当社は、高機能で独自性のあるパッケージ製品を「KYODOプレミアム」としてブランド展開し、広く市場へ供給しています。

チューブ分野では、業界トップクラスのチューブ製造技術を生かした当社特有のオーバル(楕円)形状ラミネートチューブを化粧品業界などに供給を始めました。当社の持つ高バリア機能、美麗印刷表現に加えてオーバル独自のデザイン性、訴求力を兼ね備えています。チューブ前面が広いので店頭でアピールするコミュニケーション・デザインが容易で、化粧品業界のニーズに対応しています。



※包装事業部では当社パッケージ製品・高機能資材の専門サイト「PackageOnline」を展開しています。

ぜひご覧ください。 <http://package.kyodoprinting.co.jp/>

## 女性活躍推進活動において

### 「東京労働局長優良賞」受賞

平成20年10月、女性社員の能力発揮を促進し、仕事と家庭との両立を積極的にサポートする企業として、厚生労働省が行う「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門において、『東京労働局長優良賞』を受賞しました。

先輩女性社員の体験談の紹介による応募促進や、両立支援体制の充実で定着しやすい環境を整備するなどの当社の取り組みが、女性活躍推進活動として認められました。具体的な取り組みが功を奏し、今まで女性が少なかった製造や営業部門に女性の職域が拡大しました。

今後も、ワーク・ライフ・バランスの推進を含む職場環境の改善に取り組み、男女ともに社員一人ひとりが能力を充分に発揮できる、「働く意欲にこたえる環境」の実現をめざします。

## 当社発行 平山郁夫画伯 全点描き下ろしの新作素描集

### 「平山郁夫と大いなるシルクロード」全12集

現代日本画壇を代表する平山郁夫画伯の描き下ろし作品を収録した素描集『平山郁夫と大いなるシルクロード』全12集を、平成20年12月より約3年をかけて順次制作し、発行します。

本素描集は、平山画伯ご本人が立案し、この商品のために全作品を描き下ろすという従来例を見ない画期的な企画です。額縁を含めた監修や、作品解説も平山画伯によるものです。

販売は、契約代理店を通じた通信販売(ダイレクトメール、冊子・新聞広告など)や展示販売にあわせて、書店などでの店頭販売も予定しています。



第1集「西から東へ」には、「古代ローマの都 フォロ・ロマーノ ローマ」や「ブルーモスク イスタンブールトルコ」など6点を収録

※美術商品部ではブログ「美術趣味」を展開しています。

ぜひご覧ください。 <http://bijutsu-shumi.com/>



## コンクール受賞報告

カレンダー、カタログ、ポスター、POPが下記の通り数々の賞を受賞しました。主な作品は、当社 SPC が企画制作・ディレクションしました。

### ■第 60 回 全国カレンダー展 8 点が入賞

●経済産業大臣賞／

(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ

●国立印刷局理事長賞／

(財) NHK サービスセンター ほか



### ■第 50 回 全国カタログ・ポスター展 6 点が入賞

#### 【ポスターの部】

日本商工会議所会頭賞／(社) 日本グラフィックデザイナー協会「1-Design For The Next」

#### 【カタログの部】

日本印刷産業連合会会長賞／(株) 資生堂  
企業文化部「花椿 よむ NO.700 OCT.08」  
「花椿 みる NO.701 ,NOV.08」ほか



### ■ 2008 38th Japan POP Festival、銀賞 4 点を受賞

#### 【化粧品部門】

・銀賞／(株) コーセー

雪肌精シュープレムテストング訴求台

・銀賞／(株) コーセー

BKO VMD ツールセット

#### 【トイレタリー部門】

・銀賞／(株) コーセー

HBP バラの入浴剤 中置販売台

#### 【運輸・エネルギー・スポーツ・旅行部門】

・銀賞／富士重工業 (株)

エクシーガ カタログスタンド POP



## 「日本印刷学会 論文賞」と 「日本印刷学会 技術奨励賞」を受賞

平成21年2月、産学官連携のもと印刷技術の向上をめざす(社)日本印刷学会が行う表彰制度において、下記の通り受賞しました。

### 【日本印刷学会 論文賞】

「強磁場によるパール顔料の配向 (2) 磁気モジュレータによるパール顔料のパターニング」

超伝導マグネットを用いたパターニングによって、新しい印刷方式の可能性を示した論文です。磁場配向の技術を価値の高い特殊印刷技術と結びつけた新規性と、この分野における技術研究の有用な知見となる成果を生み出した点が高く評価されました。

著者名：洲田泰司、高橋 敦、北原清志 (以上共同印刷 (株))、  
山登正文 (首都大学東京)、木村恒久 (京都大学)

### 【日本印刷学会 技術奨励賞】

「個人情報保護スクラッチ宛名ラベル『消え～るくん<sup>®</sup>』の開発」

「消え～るくん<sup>®</sup>」は、住所や名前の印字部分にスクラッチ機能を持たせ、コインなどで削ると、印字した情報が簡単に消去できるラベルです。個人情報保護に注目が集まる中、簡単かつ安全に個人情報が消去できることに加え、輸送中のラベル機能維持や封筒を使用しない環境配慮タイプの開発なども高く評価されました。  
※「消え～るくん<sup>®</sup>」は、当社とヤマトグループのヤマトパッキングサービス (株) が共同開発した製品。

# 連結貸借対照表

平成21年3月31日現在  
(単位：百万円)

前連結会計年度		当連結会計年度	前連結会計年度		当連結会計年度
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b> .....	<b>48,705</b>	<b>49,289</b>	<b>流 動 負 債</b> .....	<b>32,429</b>	<b>36,247</b>
現金及び預金	10,270	12,795	支払手形及び買掛金	23,630	22,162
受取手形及び売掛金	29,767	28,397	短期借入金	78	—
たな卸資産	7,153	6,496	1年内返済予定の長期借入金	1,250	1,455
繰延税金資産	733	739	1年内償還予定の社債	580	5,220
その他	955	1,017	未払法人税等	276	199
貸倒引当金	△ 175	△ 158	賞与引当金	1,267	1,166
			役員賞与引当金	60	40
			その他	5,286	6,003
<b>固 定 資 産</b> .....	<b>57,588</b>	<b>52,465</b>	<b>固 定 負 債</b> .....	<b>19,259</b>	<b>15,296</b>
<b>有形固定資産</b> .....	<b>41,521</b>	<b>41,843</b>	社 債	10,395	5,175
建物及び構築物	13,881	14,475	長期借入金	2,353	3,898
機械装置及び運搬具	11,624	11,296	繰延税金負債	206	187
工具、器具及び備品	930	949	退職給付引当金	5,878	5,475
土地	14,496	14,582	役員退職引当金	388	—
リース資産	—	161	その他	37	559
建設仮勘定	588	378			
<b>無形固定資産</b> .....	<b>2,093</b>	<b>817</b>	<b>負 債 合 計</b> .....	<b>51,689</b>	<b>51,543</b>
ソフトウェア	730	663	<b>純 資 産 の 部</b>		
のれん	1,210	—	<b>株 主 資 本</b> .....	<b>51,916</b>	<b>49,794</b>
その他	153	154	資 本 金	4,510	4,510
<b>投資その他の資産</b> .....	<b>13,972</b>	<b>9,804</b>	資本剰余金	1,742	1,742
投資有価証券	12,132	7,216	利益剰余金	45,706	43,583
長期貸付金	130	89	自己株式	△ 43	△ 42
繰延税金資産	588	1,608	評価・換算差額等	2,489	299
その他	1,477	1,257	その他有価証券評価差額金	2,448	494
貸倒引当金	△ 355	△ 367	為替換算調整勘定	41	△ 195
			少数株主持分	198	118
			<b>純 資 産 合 計</b> .....	<b>54,604</b>	<b>50,211</b>
<b>資 産 合 計</b> .....	<b>106,294</b>	<b>101,754</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> .....	<b>106,294</b>	<b>101,754</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●総資産は、1,017億5千4百万円（前連結会計年度末1,062億9千4百万円）となり、45億3千9百万円減少しました。これは無形固定資産ののれんの減少12億1千万円と投資その他の資産の投資有価証券の減少49億1千5百万円等によるものです。無形固定資産ののれんの減少は、(株)コスモグラフィックの子会社化に係るのれん減損損失等によるものです。投資その他の資産の投資有価証券の減少は、当連結会計年度末における時価評価の影響等によるものです。負債は、515億4千3百万円（前連結会計年度末516億8千9百万円）となり、1億4千6百万円減少しました。これは主に流動負債の支払手形及び買掛金が減少したことと固定負債の長期借入金が増加したことによるものです。純資産は、502億1千1百万円（前連結会計年度末546億4百万円）となり、43億9千2百万円減少しました。これは主に利益剰余金が減少したことによるものです。

# 連結損益計算書

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで  
(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
売上高	113,391	111,090
売上原価	96,567	95,360
売上総利益	16,824	15,729
販売費及び一般管理費	15,023	14,895
営業利益	1,800	834
営業外収益	1,221	1,231
受取利息及び配当金	235	265
その他	986	965
営業外費用	636	668
支払利息	243	220
その他	392	447
経常利益	2,386	1,397
特別利益	607	68
投資有価証券売却益	380	0
補助金収入	4	9
固定資産売却益	173	47
その他	50	11
特別損失	1,253	2,322
固定資産売却損	56	3
固定資産除却損	293	322
投資有価証券評価損	349	508
減損損失	542	1,458
その他	12	29
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	1,740	△ 856
法人税、住民税及び事業税	985	290
法人税等調整額	636	300
少数株主利益又は損失(△)	11	△ 47
<b>当期純利益又は損失(△)</b>	<b>107</b>	<b>△ 1,401</b>

(注) 1. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 1,358 1,328  
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●出版不況や企業の広告費削減などの影響により、売上高は 1,110 億 9 千万円（前期比 2.0%減）となりました。営業利益は、受注競争激化による価格下落の他に、有形固定資産の耐用年数変更に伴う減価償却費の増加や「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用されたことによる影響も加わり、8 億 3 千 4 百万円（前期比 53.7%減）となり、経常利益は 13 億 9 千 7 百万円（前期比 41.4%減）となりました。また、減損損失 14 億 5 千 8 百万円や投資有価証券評価損 5 億 8 百万円等を特別損失に計上したことにより、当期純損失は 14 億 1 百万円となり、前連結会計年度を大幅に下回る結果となりました。

## 連結株主資本等変動計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで  
(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成20年3月31日 残高	4,510	1,742	45,706	△ 43	51,916
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 721		△ 721
当期純損失			△ 1,401		△ 1,401
自己株式の取得				△ 1	△ 1
自己株式の処分			△ 1	3	1
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 2,123	1	△ 2,122
平成21年3月31日 残高	4,510	1,742	43,583	△ 42	49,794

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日 残高	2,448	41	2,489	198	54,604
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△ 721
当期純損失					△ 1,401
自己株式の取得					△ 1
自己株式の処分					1
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)	△ 1,953	△ 237	△ 2,190	△ 80	△ 2,270
連結会計年度中の変動額合計	△ 1,953	△ 237	△ 2,190	△ 80	△ 4,392
平成21年3月31日 残高	494	△ 195	299	118	50,211

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

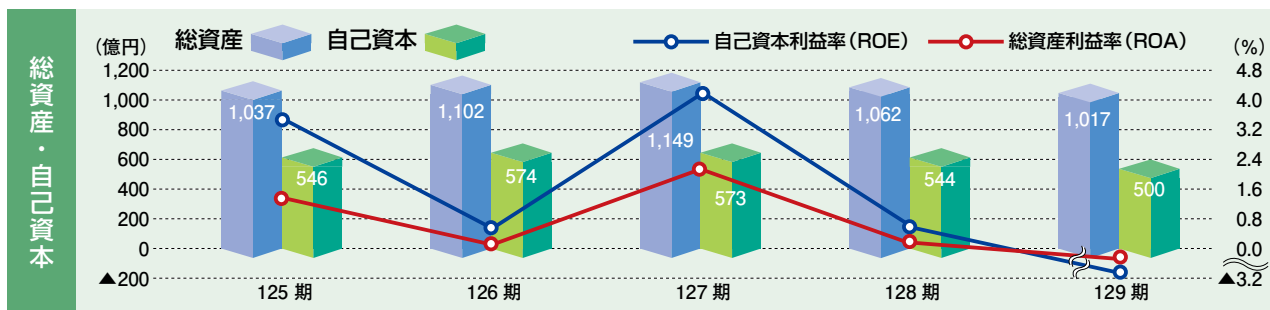
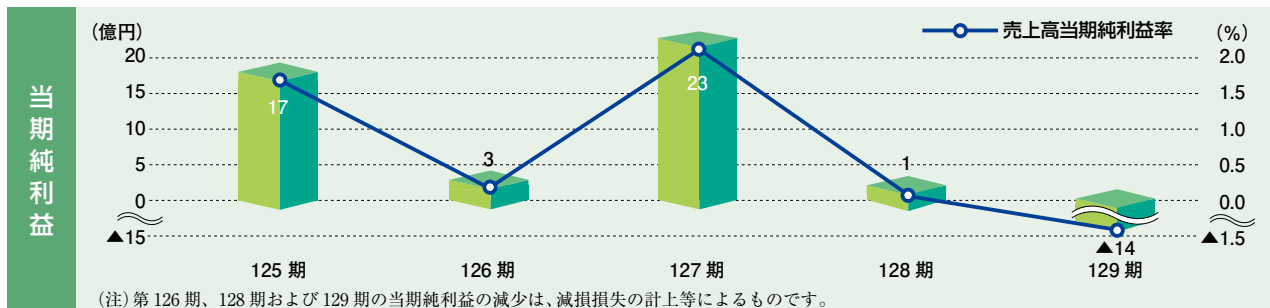
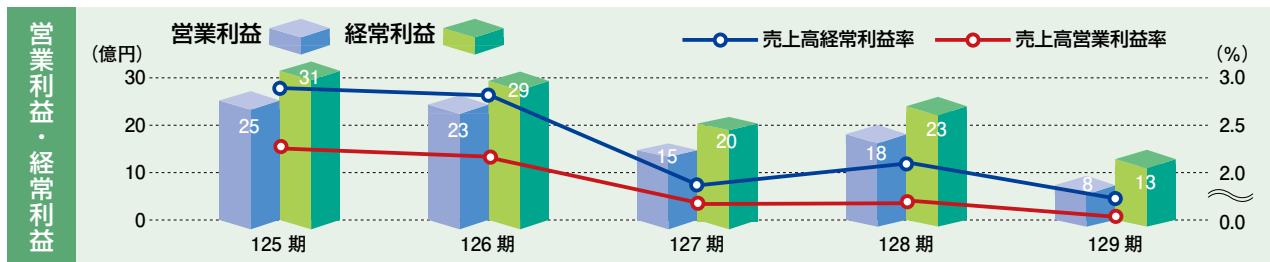
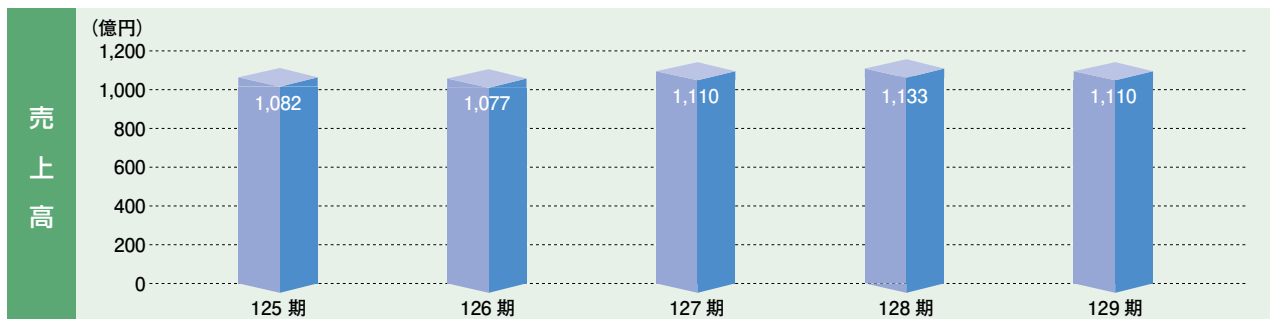
## 連結キャッシュ・フロー計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで  
(単位：百万円)

区 分	前連結会計年度	当連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,017	6,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,262	△ 4,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,802	360
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 16
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,047	2,179
現金及び現金同等物の期首残高	12,058	10,010
現金及び現金同等物の期末残高	10,010	12,189

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 業績の推移(連結)





## 会社の概要

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	明治30(1897)年6月25日
設立年月日	大正14(1925)年12月26日
資本金	45億1千万円
従業員数	連結:3,126名 単体:2,289名 (臨時員含まず。平成21年3月末現在)



本社・小石川工場

## 役員

取締役会長	山口 政廣	取締役	松山 雅俊
代表取締役社長	稲木 歳明	取締役	清水 市司
専務取締役	渡邊 晋也	取締役	井戸 一喜
専務取締役	赤坂 洋輔	取締役	岡田 正明
専務取締役	谷 公明	取締役	大澤 春雄
常務取締役	花田 和彦	取締役	大久保隆司
常務取締役	藤森 康彰	常勤監査役	中山 芳郎
常務取締役	三吉 幹夫	常勤監査役	朝比奈治美
取締役	小笠原 誠	監査役	望月 三朗
取締役	半田 正章	監査役	小澤 優一

(平成21年3月31日現在)

●平成21年6月24日開催の第129期定時株主総会において、取締役として新たに齋藤文孝、今村敏夫の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。また、取締役の渡邊晋也、谷 公明の両氏は同総会終結の時をもって任期満了により退任いたしました。

監査役に関しましては同総会において監査役として新たに谷 公明、公文 敬の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。監査役の中山芳郎、望月三朗の両氏は同総会の終結の時をもって辞任いたしました。

追って、同総会終了後に開催されました取締役会において、新たに花田和彦氏が専務取締役に小笠原誠氏が常務取締役にそれぞれ選定され就任いたしました。

同じく監査役会におきましては谷 公明氏が常勤監査役に選定され、就任いたしました。

上記以外の役付取締役・監査役の異動はありません。

## 営業所・工場

### 本社

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

Tel. 03-3817-2071 (総務部)

### 関西事業部

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-1-2 沢の鶴ビル

Tel. 06-6203-1588 (代表)

### 中部事業部

〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-18 ニューサカエビル

Tel. 052-951-7661 (代表)

### 京都営業所

〒604-0835 京都市中京区御池通高倉西入高宮町200千代田生命京都御池ビル

Tel. 075-223-0163 (代表)

### 野田開発センター

〒278-0051 千葉県野田市七光台66

Tel. 04-7129-1980

### 小石川工場 (出版印刷・一般商業印刷)

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

Tel. 03-3817-2111 (代表)

### 五霞工場 (出版印刷・一般商業印刷)

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋7514

Tel. 0280-84-3511 (代表)

### 鶴ヶ島工場 (カード・証券類・ビジネスフォーム)

〒350-2201 埼玉県鶴ヶ島市富士見6-2-12

Tel. 049-286-6060 (代表)

### 川島工場 (データプリント・ビジネスフォーム)

〒350-0151 埼玉県比企郡川島町八幡6-13-2

Tel. 049-291-0200 (代表)

### 小田原工場 (チューブ)

〒250-0216 神奈川県小田原市高田288

Tel. 0465-42-1551 (代表)

### 越谷工場 (金属印刷など)

〒343-0851 埼玉県越谷市七左町4-301

Tel. 048-989-1221 (代表)

### 守谷工場 (紙器・軟包装など)

〒302-0118 茨城県守谷市立沢1932

Tel. 0297-45-2681 (代表)

### 和歌山工場 (チューブ)

〒643-0023 和歌山県有田郡有田川町熊井560-2

Tel. 0737-52-7211 (代表)



五霞工場



鶴ヶ島工場



川島工場



小田原工場



越谷工場



守谷工場



和歌山工場

## 共同印刷グループ

### ●子会社

会社名	所在地	主な事業内容
共同物流（株）	東京都文京区	梱包・輸送・保管
共同デジタル（株）	東京都文京区	プリプレス
小石川プロセス（株）	東京都文京区	プリプレス
常磐共同印刷（株）（磯原工場運営）	茨城県北茨城市	印刷
共同辞書印刷（株）	埼玉県戸田市	印刷
近畿共同印刷（株）（京都工場運営）	京都府久御山町	印刷・データプリント
笹目印刷加工（株）	埼玉県戸田市	印刷・製本
Kyodo Printing Co(S'pore)Pte Ltd.	シンガポール共和国	印刷・製本
共同印刷製本（株）	茨城県五霞町	製本
共同印刷データリンク（株）	東京都文京区	データ入力・編集・加工、コールセンター、BPO 加工
常磐包装（株）	茨城県北茨城市	包装
共同総業（株）	東京都文京区	不動産賃貸および管理・損害保険等代理業
共同印刷ビジネスソリューションズ（株）	東京都文京区	システム開発・運営 ソリューションビジネス
（株）日本書籍新社	東京都文京区	出版
（株）コスモグラフィック	東京都文京区	プリプレス

### ●関連会社

会社名	所在地	主な事業内容
共同製本（株）	東京都文京区	製本
千葉共同印刷（株）	千葉県千葉市	一般商業印刷・データプリント・ビジネスフォーム
Kyodo Nation Printing Services Co., Ltd.	タイ王国	印刷・製本
デジタルカタパルト（株）	東京都千代田区	デジタルコンテンツの制作・編集および販売

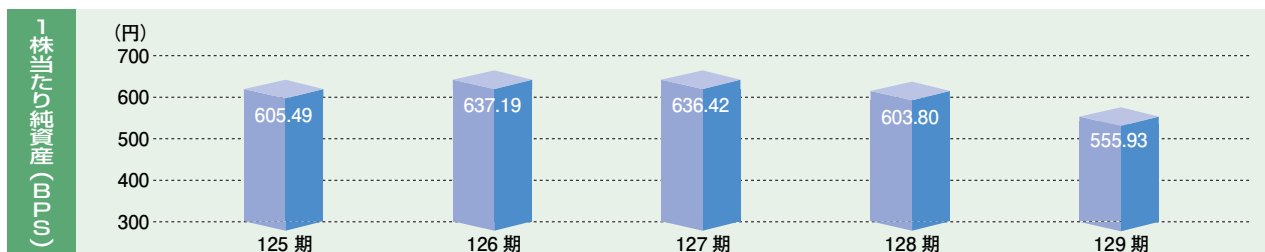
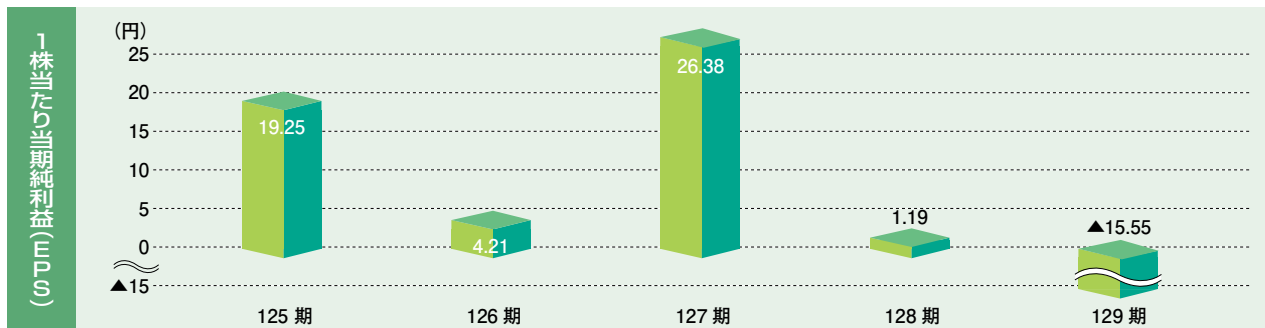
## 株式のご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
	その他必要あるときは予め公告する日
公告方法	電子公告
	ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
公告およびIR情報等を掲載するウェブサイトアドレス	<a href="http://www.kyodoprnting.co.jp/">http://www.kyodoprnting.co.jp/</a>

上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物郵送先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	電話 03-3323-7111 (大代表)
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っています。	

各種手続用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはウェブサイトをご利用ください。

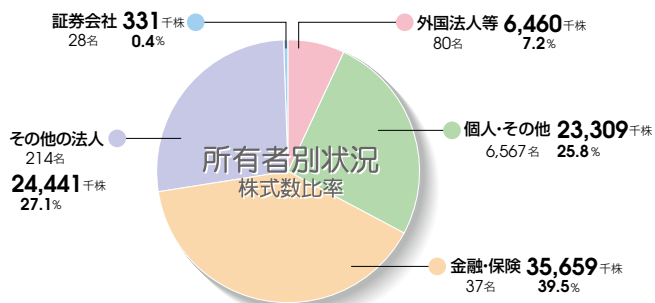
- フリーダイヤル 0120-87-2031
- ウェブサイト [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)



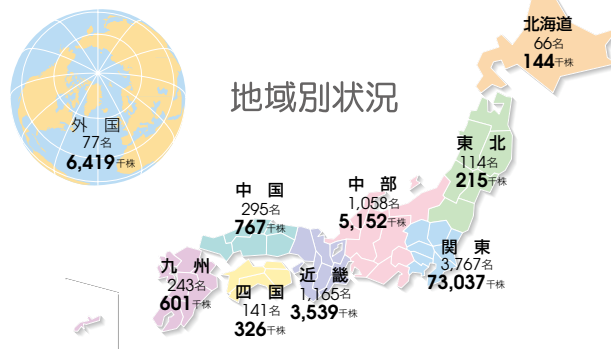
# 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	360,800,000 株
発行済株式総数	90,200,000 株
単元株式数	1,000 株
株主数	6,926 名

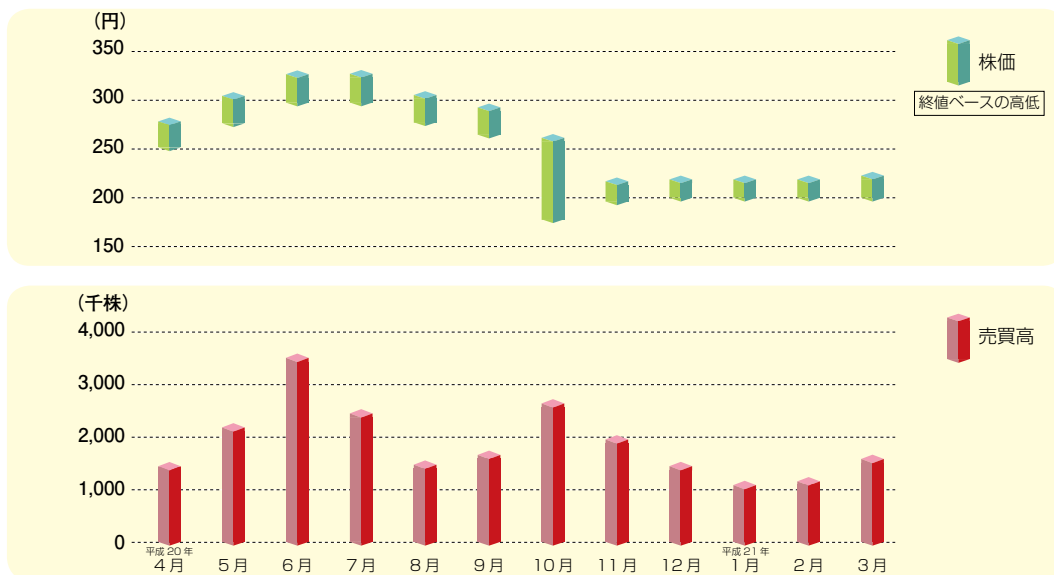
## ■株式分布状況——所有者別状況 (株式数比率)



## ■株式分布状況——地域別状況



## ■株価および売買高の推移 (東京証券取引所)





# お知らせ

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成 20 年改正（平成 20 年 4 月 30 日法律第 23 号）により、平成 21 年 1 月以降にお支払いする配当金について株主さまあてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主さまは年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主さまは配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

## 株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

以上

**KYODO** やってみる  
**SPIRIT** ★  
**2010** 変えてみる